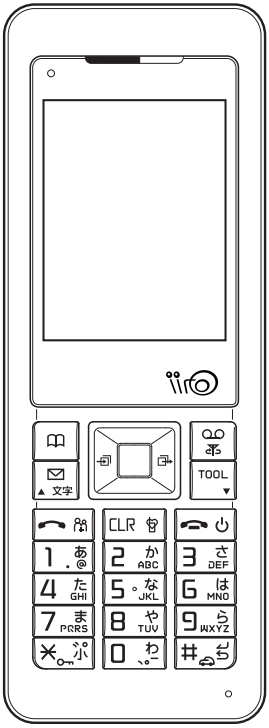
WX04S
取扱説明書



お使いになる前に
基本操作
電話をかける／受ける
文字入力
電話帳
メール
音・表示・照明の設定
カレンダー
セキュリティ
便利な機能
ワイモバイルの各種サービス
データフォルダ
付録

SII

セイコーインスツル株式会社

はじめに

この度は、「WX04S」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

ご利用の前に、本書をよくお読みになり、本電話機を正しくお取り扱いください。
また、本電話機は電波法ならびに電気通信事業法に基づく技術基準に適合し、技適マークを画面に表示することができます。

表示方法は、「適合規格情報を表示する（P.37）」をご覧ください。

■注　意■

本書の内容は予告なしに変更する場合がございます。

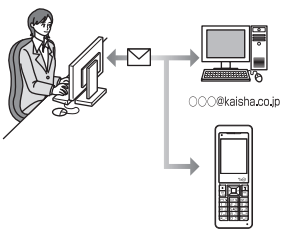
こんなことができます

電話機能のほかにも、便利に使える機能があります。

Eメール

ワイモバイルのEメールのほか、パソコンなどで使っているメールアドレスのEメールが送受信できます。

Eメールをするには（→P.99）



赤外線通信

赤外線通信対応の電話機同士で電話帳データをやり取りできます。

赤外線通信をするには（→P.177）

SMS（ショートメッセージサービス）

PHS同士はもちろん、携帯電話ともリアルタイムなメッセージの送受信ができます。

SMSをするには（→P.103）

防水性能

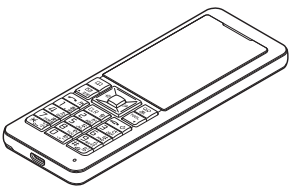
防水性能を有しているので、キッチンや洗面所等の水回りでもご利用になれます。

その際にはリアカバーがしっかりと取り付けられていることをご確認ください。

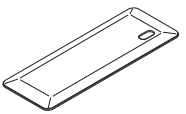
なお、水中ではご利用になれません。（→P.19）

セットを確認する

本体



リアカバー



クイックスタートガイド／保証書

■ 注　意 ■

万一梱包内容に不足がある場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

目次

はじめに 1
こんなことができます 2
Eメール 2
赤外線通信 2
SMS（ショートメッセージサービス） 2
防水性能 2
セットを確認する 3
目次 4
安全上のご注意 10
免責事項について 11
WX04S 本体、周辺機器（オプション品）共通 12
WX04S 本体について 13
内蔵電池について 15
知っておいてください 16
お取り扱い上のご注意 17
WX04S 本体、周辺機器（オプション品）共通 17
WX04S 本体について 17
内蔵電池について 18
充電について 18
空気抜き用の穴について 18
防水性能について 19
本製品の防水性能でできること 19
ご利用にあたって 19
水に濡れたときは 20
充電の時は 20
快適にお使いいただくために 20
本書の読み方 21

お使いになる前に 23

各部の名前と機能 24
本体 24
ディスプレイ 25
待受け画面メッセージ 26
リアカバーの取り外し 27
リセットボタンを押す 27
充電する 28
ACアダプタで充電する 28
Micro USB ケーブルと接続して充電する 29
電池残量の確認 30
電源を入れる／切る 30
機能の呼び出しかた 31
キー操作の基本 31
メニューから選択する 31
操作中のメニューを使う 34
暗証番号について 35
発信者番号通知について 36
日付・時刻の設定 36
日付と時刻を設定する 36
自動補正設定をする 36
プロフィールの設定 37
プロフィールを表示する 37
編集する 37
赤外線通信で送受信する 37
適合規格情報を表示する 37

基本操作 39

電話をかける 40
電話を受ける 40
着信履歴・発信履歴を確認する 41
電話帳を利用する 41
文字を入力する 42
メールを作成する 42
メールを読む 43

電話をかける／受ける 45

電話をかける 46
発信者番号の通知／非通知を指定して電話をかける 47
ポーズ入力を利用したダイヤルで電話をかける 47
緊急特番（110、118、119）に電話をかける 48
電話を受ける 48
通話キー以外のキーでも電話に出られるようにする（エニーキーアンサーの設定） 48

電話に出る前に着信音を止める……49
着信中に留守番電話応答する……49
ハンズフリー通話で応答する……49
かかってきた電話番号を拒否登録する……49
通話中の操作……50
強い電波をサーチする……50
受話音量を設定する……50
通話を保留する……50
通話中にハンズフリー通話に切り替える……50
通話中に電話番号をメモする……50
通話中の相手の声を録音する……51
通話中の着信通知を設定する……52
着信履歴・発信履歴……53
着信履歴を確認する……53
発信履歴を確認する……53
着信履歴・発信履歴から電話をかける……54
着信履歴・発信履歴を消去する……54
履歴をソートする……56
着信履歴・発信履歴から拒否登録する……56
マナーモードの設定……57
マナーモードを起動／解除する……57
マナーモードを編集する……57
留守番電話の設定……58
留守番電話を設定／解除する……58
応答メッセージを設定する……59
録音メッセージを再生／削除する……59
安全運転モードの設定……60
安全運転モードを起動／解除する……60
安全運転モードを選択する……60
累積通話時間を見る……61

文字入力 63

文字入力について……64
文字の入力画面について……64
入力モードの切り替えについて……64
文字入力画面でのキー割り当てについて……65
文字を入力する……66
漢字やひらがなを入力する……66
カタカナを入力する……67
英字を入力する……68
数字を入力する……69
絵文字／記号等を入力する……69
SJIS コードで入力する……71
文字を修正する……72
文字を消去する……72
文字をコピー／切り取りする……73
範囲を選択してコピー／切り取りする……73
全てコピー / 切り取りする……73
コピー／切り取りした文字を貼り付ける……73
予測機能の利用について……74
予測機能で文字を入力する……74
予測機能を設定／解除する……74
学習内容をリセットする……74
定型文の利用について……75
定型文を利用する……75
定型文を編集する……75
定型文をリセットする……75
アドレス記号の利用について……76
アドレス記号を利用する……76
アドレス記号を編集する……76
アドレス記号をリセットする……77
顔文字の利用について……78
顔文字を利用する……78
顔文字を編集する……78
顔文字をリセットする……78
ユーザ辞書の利用について……79
単語を登録する……79
単語を編集する……80
単語を消去する……80

電話帳 81

電話帳の登録内容……82
電話帳に登録する……83
新規登録する……83
履歴から新規登録する……83
履歴から追加登録する……84
電話帳の利用について……85
電話帳を開く……85
電話帳の表示を切り替える……85
電話帳を検索する……85
様々な情報から電話帳を検索する……86
電話帳から電話をかける……86
電話帳から E メールを作成する……87
電話帳から SMS を作成する……87

登録した相手をお気に入り登録する……87
電話帳の編集／消去について……88
電話帳を編集する……88
電話帳データを消去する……88
電話番号を入れ替える……89
グループ設定について……89
グループ名を編集する……89
グループの音声着信音を設定する……89
グループの SMS 受信音を設定する……90
グループの LED 点灯を設定する……90
グループのキーバックライトの
ON/OFF を設定する……91
グループ設定をリセットする……92
電話帳の登録件数を確認する……92
**シークレットデータの表示／非表示を
切り替える……93**
電話帳の閲覧を制限する……93
電話帳を初期化する……94
**ファストコール設定と短縮ダイヤルを
利用する……94**
ファストコール登録をする……94
ファストコール登録を解除する……95
ファストコール画面から電話をかける……95
ファストコール画面から E メールを送る……95
ファストコール画面から SMS を送る……95
短縮ダイヤルを利用して電話をかける……95

メール 97

E メール／ SMS について……98
E メールについて……98
SMS について……98
メール BOX について……98
E メールの送受信について……99
オンラインサインアップをする……99
オンラインサインアップを消去する……100
E メールを作成／送信する……100
E メールを作成して送信する……100
ファイルを添付する……101
自動的に BCC に宛先が
入力されるよう設定する……102
E メールを保存する……102
SMS を作成／送信する……103
SMS を作成して送信する……103
SMS の送達確認設定をする……104
SMS を保存する……104
E メールを受信する……104
自動で受信する……104
サーバから手動で受信する……105
受信した E メールを読む……106
SMS を受信する……107
受信した SMS を読む……107
受信 BOX について……108
受信フォルダの表示 / 非表示を
切り替える……108
受信したメールを表示する……108
返信する……109
引用してメールを返信する……110
転送する……110
受信メールをフォルダに振分ける……111
フォルダ名を編集する……111
振分けの条件を設定する……111
振分けを実行する……112
振分け設定を解除する……112
すべての振分け設定を解除する……112
送信／未送信 BOX について……112
送信したメールを表示する……112
メールを編集して送信する……113
メール一覧画面での操作……114
受信 BOX の受信フォルダから
メールを消去する……114
送信／未送信 BOX からメールを
消去する……115
メールを保護する……116
メールを並び替える……117
メール詳細画面での操作……119
本文をコピーする……119
添付ファイルを表示／保存する……119
差出人と宛先をすべて表示する……119
メール本文中の電話番号や
メールアドレスを利用する……120
メールの文字サイズを変更する……121
プロバイダのアカウントを利用する……121
アカウントを設定する……121
アカウントをリセットする……123

アカウントを選択する……123
ダイヤルアップ接続先を設定する……123
ダイヤルアップ接続先をリセットする……125
接続先を選択する……125
緊急速報メールを利用する……126
受信した緊急速報を表示する……126
緊急速報の受信設定をする……126
緊急速報の受信音・点灯設定をする……126
マナー優先設定をする……127

音・表示・照明の設定 129

着信音を設定する……130
着信音を設定する……130
音量を設定する……130
バイブを設定する……130
Eメール、SMS受信、圏外時着信通知の鳴動時間を設定する……131
キー操作音、効果音、充電警告音の音量を設定する……132
着信通話時のLEDを設定する……132
着信時のLED設定……132
通話中のLED設定……132
キーバックライトのON/OFFを設定する…133
背景色を設定する……134
壁紙や文字サイズを設定する……134
壁紙を設定する……134
文字サイズを変更する……134
待受け画面の表示を設定する……135
待受け画面に壁紙と時計を表示する……135
待受け画面にカレンダー、ここどこ表示、表示なしを設定する…136
クリック時計を設定する……136
照明の設定……137
バックライト点灯時間を設定する……137
バックライトの明るさを設定する……137
表示時間を設定する……137

カレンダー 139

カレンダーの利用……140
カレンダーを表示する……140
スケジュールを登録する……141
登録したスケジュールや誕生日の表示について……141
カレンダーの1ヶ月表示を待受け画面に設定する……142
スケジュールを編集する……142
スケジュールを1件消去する……143
選択した日付のスケジュールをすべて消去する……143
スケジュールを全件消去する……143
スケジュールを一覧で表示する……144
指定した日より前のスケジュールを全件消去する……144
スケジュールの登録件数を確認する……144
誕生日を一覧で表示する……144

セキュリティ 145

暗証番号の設定……146
暗証番号を変更する……146
シークレットモードの利用……146
シークレットモードを設定する……146
シークレットモードを解除する……146
機能制限の利用……147
発信を制限する……147
電話帳の利用を制限する……147
メールの利用を制限する……148
履歴閲覧を制限する……148
録音再生を制限する……148
カレンダー表示を制限する……148
メモ帳表示を制限する……149
着信拒否の利用……149
非通知の着信を拒否する……149
公衆電話の着信を拒否する……150
通知不可能の着信を拒否する……150
電話帳に登録されていない電話番号からの着信を拒否する……150
電話番号を指定して着信を拒否する……151
かかってきた電話番号を拒否登録する……152
着信履歴・発信履歴から拒否登録する……152
電話番号を着信拒否登録する際に、暗証番号を要求する……152
着信拒否の設定をすべて解除する……153
履歴保存の設定……153

発信者番号通知の設定 154
リモートロック（遠隔ロック）の利用 154
リモートロックパスワードを設定する 155
SMS 利用のリモートロックを設定する 155
SMS からリモートロックを起動する 156
サブアドレス利用のリモートロックを設定する 156
サブアドレス番号からリモートロックを起動する 157
キーロックの利用 158
キーロックを起動／解除する 158
パスワードキーロックを設定する 158
オートロックを設定する 158
管理者ロックの利用 159
管理者パスワードを設定する 160
管理者パスワードを変更する 160
発着信限定 - 発信限定を設定する 160
発着信限定 - 着信限定を設定する 161
E メール機能限定を設定する 162
オンラインサインアップ禁止を設定する 165
電話帳機能限定を設定する 165
発着履歴閲覧禁止を設定する 165
赤外線利用禁止を設定する 166
利用禁止時間設定をする 166
管理者ロックの設定状況を確認する 166
管理者ロックをリセットする 166
メモリや設定のリセット 167
本体のメモリを一括消去する 167
設定をリセットする 167
メモリ消去とリセットを一度に実行する 167

便利な機能 169

アラームの利用 170
アラームを設定する 170
アラーム音を止める 171
アラームの設定を変更する 171
タイマーの利用 172
タイマーを中断する 172
メモ帳の利用 173
メモ帳を登録する 173
メモ帳の詳細を表示する 173
メモ帳の内容を 1 件消去する 173
選択したメモを消去する 173
すべてのメモを消去する 174
電卓の利用 174
電卓を利用する 174
割り勘電卓を利用する 174
おごり割電卓を利用する 175
現在地を表示する（ここどこ表示） 176
ここどこ表示を待受け画面に設定する 176
赤外線通信を利用する 177
赤外線で送信する 177
赤外線で受信する 177
音声メモを録音する 178
音声メモを再生するには 178
音声メモを 1 件消去する 178
選択した音声メモを消去する 179
すべての音声メモを消去する 179
電波を停止する 180
通信中の着信通知を設定する 180
位置情報通知機能の利用 181
位置情報通知機能を設定する 181
着信音を設定する 182
国際電話をかける 183
セルフコールの利用 183
セルフコールを鳴らす 183
セルフコールの設定をする 183
カスタマイズ設定 184
ソフトウェアの更新 185
ソフトウェアを更新する 185
自動更新通知を設定をする 185
パソコンの利用 186
PC ユーティリティを利用する 186
パソコンと接続して充電する 186

ワイモバイルの各種サービス 187

留守番電話（ネットワーク留守番電話）／着信転送サービスの利用 188
留守番電話サービス（ネットワーク留守番電話） 188
着信転送サービス 188

留守番電話（ネットワーク留守番電話）／着信転送サービスの設定をする……188
留守番電話センターに保存されたメッセージを聞く……189
分計サービスの利用……190
分計で電話をかける……190
モバイル迷惑電話チェッカーの利用……190
迷惑電話チェッカー情報を確認する……191
割込通話の利用……191
通話中にかかってきた電話に応答する……191
通話中にかかってきた電話を拒否する……192
着信お知らせの利用……192
着信お知らせの設定をする……192

データフォルダ　193

データフォルダについて……194
フォルダの種類……194
ファイルの操作……194
ファイルを表示／再生する……194
ファイル名を編集する……194
ファイルを E メールに添付する……195
ファイルの詳細を確認する……195
ファイルを消去する……195
画像ファイルを壁紙に設定する……196
サウンドファイルを着信音に設定する……196
フォルダの管理……197
データフォルダの容量を確認する……197
フォルダ内のファイルを一括消去する……197
データフォルダ内のすべてのデータを消去する……197

付録　199

機能一覧……200
電話……200
メール……201
データフォルダ……203
ツール……203
カレンダー……203
セキュリティ……204
セキュリティ　管理者ロック……205
赤外線通信……205
アラーム……206
機能設定……206
機能設定　通信機能　LI 設定詳細設定……208
マナーモード……208
こんなときは……211
本体について……211
E メール／ SMS について……212
エラーメッセージ一覧……214
記号一覧……218
半角記号……218
全角記号……218
絵文字一覧……219
絵文字 1……219
絵文字 2……219
SMS で使用できる絵文字 1……220
SMS で使用できる絵文字 2……220
アニメーション絵文字……221
顔文字一覧……223
アドレス記号一覧……223
定型文一覧……224
SJIS コード一覧……225
アフターサービスについて……241
保証書について……241
修理を依頼されるときは……241
アフターサービスについてご不明の場合……241
お問い合わせは……242
主な仕様……243
スペック一覧……244
E メール……244
SMS……244
メール BOX……244
緊急速報メール……244
データフォルダ……245
索引……246

安全上のご注意

「安全上のご注意」では、本電話機をご使用になる人や他の人々への危害や損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載してあります。
記載内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次のように説明しています。
次の表示区分は、表示内容を守らず誤った使用をした場合に生じる危機や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合「人が死亡または重傷*1 を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合「人が死亡または重傷*1 を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合「人が傷害*2 を負う可能性が想定される場合および物的損害*3 の発生が想定される」内容です。

*1「重傷」とは、失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期の通院を必要とするものを指します。
*2「傷害」とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
*3「物的損害」とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

次の表示区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。	指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。	水ぬれ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
ぬれ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。	電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

免責事項について

・地震、雷、風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
・本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断、記憶内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
・取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
・当社が関与していない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
・大切なデータは、コンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをお勧めします。万一、登録された情報内容が変化、消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

WX04S本体、周辺機器（オプション品）共通

WX04S本体、周辺機器のそれぞれにも注意事項の記載があります。必ずお読みになり記載事項をお守りください。

⚠危険

指示

必ず専用の周辺機器をご使用ください。
専用の周辺機器以外を使用すると破裂、発火、火災、漏液の原因となります。
〈周辺機器〉
ACアダプタ（オプション品）
Micro USBケーブル（オプション品）

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房機器のそば、炎天下の車内、こたつの中など）での使用や放置、保管をしないでください。
破裂、発火、火災、やけど、発熱の原因となります。

指示

引火性ガスや油煙が発生する場所では使用しないでください。
ガスに引火し、破裂、発火、火災の原因となります。ガソリンスタンドでの給油中など、引火性ガスが発生する場所では電源を切り、充電もしないでください。

禁止

火の中に投入したり加熱しないでください。
破裂、発火、火災、発熱の原因となります。

禁止

導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接続端子に接触させたり、内部に入れたりして接続端子をショートさせないでください。
破裂、発火、火災、発熱、感電の原因となります。

禁止

加熱用機器（電子レンジなど）や高圧容器に入れないでください。
破裂、発火、火災、発熱の原因となります。

分解禁止

分解や改造をしないでください。
故障、発火、感電、傷害の原因となります。修理などはワイモバイルカスタマーセンターまたはセイコーインスツルサポートデスクまでご連絡ください。

⚠警告

禁止

落下させる、投げつける、踏みつけるなど強い衝撃を与えないでください。
破裂、発火、火災、発熱の原因となります。

指示

使用中に煙が出る、においがする、異常な音がするなど異常が起きたら直ちに使用を中止してください。
異常が起きた場合は電源を切ってください。充電中の場合は、コンセントからACアダプタ（オプション品）を外してください。その後、ワイモバイルカスタマーセンターまたはセイコーインスツルサポートデスクまでご連絡ください。
そのまま使用すると、破裂、発火、火災、発熱の原因となります。

禁止

通電状態で接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。
感電、けがの原因となります。

水ぬれ禁止

WX04S 本体は防水性能を有する機種ですが、濡れたままでACアダプタ（オプション品）やMicro USBケーブル（オプション品）等を接続して充電しないでください。
電子回路のショートにより発熱、感電、火災、故障の原因となります。
防水性能については「防水性能について（P.19）」をご覧ください。

指示

浸水したり、落下したり、破損したりした場合などはそのまま使用せず、ワイモバイルカスタマーセンターまたはセイコーインスツルサポートデスクまでご連絡ください。

指示

日本の国内のみ利用可能です。
海外での利用はできません

⚠注意

禁止

乳幼児の手の届く場所には置かないでください。
けがなどの原因となります。また、小さな部品を飲み込む危険があります。

禁止

直射日光の当たる場所(自動車内など)、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。
破裂、発火、火災の原因となります。

禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落下してけがの原因となります。また、WX04S 本体がバイブ設定になっている場合、バイブにより落下する可能性があるため特にご注意ください。

禁止

外部から電源が供給されている状態のWX04S本体、ACアダプタ(オプション品)に長時間、触れないでください。
低温やけどの原因となります。

WX04S本体について

共通の注意事項（WX04S本体、周辺機器（オプション品））についての記載も必ずお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠危険

禁止

クギを刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたり、落下させたりしないでください。
内蔵電池の液漏、破裂、発火、発熱の原因となります。

⚠警告

禁止

自動車、バイク、自転車などの運転中には使用しないでください。
交通事故の原因となります。自動車、バイク、自転車運転中の PHS の使用は法律で禁止されています。

指示

航空機の機内では電源を切ってください。
電波が電子機器に影響を及ぼし、運航の安全に支障をきたすおそれがあります。航空機内での使用は法律で禁止されています。

指示

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器の近くで本電話機を使用される場合は、電波によりそれらの装置、機器に影響を与えるおそれがあるため、次のことを守ってください。

1. 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方は、本電話機を植込み型心臓ペースメーカーなどの装着部から 22 cm 以上離して携行および使用してください。
2. 満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカー、植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本電話機の電源を切ってください。
3. 医療機関の屋内では次のことに注意して使用してください。

手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本電話機を持ち込まない。

病棟内では、本電話機の電源を切る。

ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本電話機の電源を切る。

医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う。

4. 医療機関の外で植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合（自宅療養など）は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

ここに記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（平成9年3月「不要電波問題対策協議会」〈現電波環境協議会〉）に準拠し、また「電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書」（平成13年3月「社団法人電波産業会」）の内容を参考にしたものです。

PHSについては平成12～13年度に調査が行われ、平成17年に上記指針、報告書の内容が妥当であることが総務省より公表されています。

指示

高精度な電子機器の近くでは電源を切ってください。
電子機器に影響を与える場合があります。

〈影響を与えるおそれがある機器の例〉

心臓ペースメーカー、補聴器、その他の医用電子機器、火災報知器、自動ドアなど。

医用電子機器をお使いの場合は、電波による影響について機器メーカーまたは販売者にご確認ください。

指示

通話、メールなどをするときは周囲の安全を確認してください。
安全を確認せずに使用すると、転倒、交通事故の原因となります。

指示

屋外で雷鳴が聞こえた場合は、直ちに WX04S の使用を中止してください。
落雷、感電の原因となります。

禁止

WX04S 本体は完全防水ではありません。下記1～5および「防水性能について（P.19）」に記載されている内容を守らずに使用しないでください。
1. 水中で使用（キー操作を含む）しないでください。
2. 常温の真水・水道水以外の液体に浸けないでください。
3. 規定（IPX4）（→P.19）を超える強い水流に当てたりないでください。
4. IPX7/IPX8 の防水性能は有していないため、水中に沈めないでください。
5. 砂浜などの上に置かないでください。
発火・発熱・傷害・感電・故障の原因となります。

禁止

WX04S本体が落下により破損し、電話機内部が露出した場合、露出部分に手を触れないでください。
感電したり、破損部でけがをすることがあります。ワイモバイルカスタマーセンターまたはセイコーインスツルサポートデスクまでご連絡ください。

指示

心臓の弱い方はバイブ設定や音量の大きさの設定にご注意ください。
心臓に影響を与える可能性があります。

禁止

暗い部屋で、画面の強い光や光の点滅を見つめないでください。
強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ていると、ごくまれに筋肉のまひや意識の喪失などの症状を起こす場合があります。こうした経験のある方は、事前に必ず医師と相談してください。

禁止

赤外線通信を行うときは、赤外線ポートに目を向けないでください。
目に影響を与えることがあります。

⚠注意

禁止

WX04S に取り付けたハンドストラップなどを持って振り回さないでください。
けがの原因となります。

禁止

キャッシュカードやフロッピーディスク等の磁気を帯びた記録媒体や電子機器、金属製品を近づけないでください。
磁気データの消失の原因となります。

指示

リアカバーを開ける際は指の腹を使用し開けてください。
爪を引っかけて開けると爪を痛める危険があります。

水ぬれ禁止

水滴がついたまま、パソコン等の電子機器へ接続しないでください。
パソコンの内部に水が入り、故障の原因になります。

ぬれ手禁止

指示

皮膚に異常を感じたときは、直ちに使用をやめ、皮膚科専門医へご相談ください。
お客様の体質、体調によってはかゆみ、かぶれ、湿疹などを生じる場合があります。

本製品は、以下に記載の材料、表面処理を施しております。

- **本体外装ケース（表面）**
  PC 樹脂
  UV 硬化塗装
- **本体外装ケース（裏面、側面外周）**
  ポリアミド樹脂（ガラス繊維含有）
- **リアカバー**
  PC 樹脂
- **ディスプレイパネル**
  アクリル樹脂
- **赤外線ポート**
  アクリル樹脂
- **キーパッド**
  PC樹脂
  UV硬化塗装
- **ネジ**
  SUS

禁止

受話音量を上げたまま、長時間の通話に使用しないでください。スピーカーに耳を近づけないでください。
聴力に悪い影響を与えることがあります。

禁止

ズボンやスカートの後ろポケットに WX04S 本体を入れたままイスなどに座らないでください。また、カバンの底など無理な力がかかるような場所に入れないでください。
破損の原因となることがあります。

指示

使用時以外は USB ケーブルを Micro USB端子から抜いてください。
破裂、発火、火災、発熱、感電の原因となります。

指示

USB ケーブルは、コネクタの向きをよく確認してからMicro USB端子に挿し込んでください。
コネクタが逆向きの方向で無理にUSB ケーブルを挿し込むと、破損の原因となることがあります。

指示

USBケーブルは、Micro USB端子に根元まで確実に差し込んでください。
差し込みが不完全ですと、破裂、発火、火災、発熱、感電の原因となります。

禁止

USB ケーブルが傷んだり、Micro USB 端子の差し込みがゆるいときは使用しないでください。
破裂、発火、火災、発熱、感電の原因となります。

内蔵電池について

共通の注意事項（WX04S本体、周辺機器（オプション品））についての記載も必ずお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠危険

指示

内部の液が目に入った場合は、こすらずすぐにきれいな水で十分洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。
放置すると失明するおそれがあります。

⚠警告

指示

漏液したり、異臭がするときは直ちに使用を中止してください。また、万一近くに火気がある場合は、火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、破裂、発火の原因となります。

指示

内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちにきれいな水で十分に洗い流してください。また、皮膚に異常を感じたときには、直ちに皮膚科専門医へご相談ください。
皮膚がかぶれたりする原因となります。

指示

所定の時間を超えても充電が完了しない場合は、直ちに充電をやめてください。
内蔵電池の液漏れ、破裂、発火、火災、発熱の原因となります。ワイモバイルカスタマーセンターまたはセイコーインスツルサポートデスクまでご連絡ください。

⚠注意

禁止

WX04S 本体には内蔵電池が含まれているため、解約または機種変更等で不要になった場合、一般のゴミといっしょに捨てないでください。
環境保護のため、お近くのワイモバイルショップまたはモバイル・リサイクル・ネットワークのあるお店にお持ちください。

Li-ion00

知っておいてください

劇場や映画館、レストランやホテルのロビー、図書館、病院など、人の多い場所や静かな場所では電源を切るか、周りの方の迷惑にならないように注意してください。

回線が混み合っていると、電波状態が良好でも発信したときに「ツーツー…」という音が鳴って使用できないことがあります。少し待ってからお使いください。

お取り扱い上のご注意

WX04S本体、周辺機器（オプション品）共通

無理な力がかかるとディスプレイや内部の基板などが破損し、故障の原因となります。ズボンやスカートのポケットに入れたまま座ったり、カバンの中で重いものの下になったりしないようにご注意ください。外部に破損がなくても、保証の対象外となります。

極端な高温、低温、多湿はお避けください。周囲の温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内で使用してください。

ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。

WX04S本体のMicro USB端子、ACアダプタ（オプション品）のコネクタを、ときどき乾いたきれいな綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき電源コネクタを変形させないでください。

汚れた場合はやわらかい布で乾拭きしてください。ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤などを使用すると外装や文字が変質するおそれがありますので、使用しないでください。

固定電話、テレビ、ラジオなどを使っている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れて使用してください。

通話中、メールなどの利用中や充電中などに、温かくなることがありますが異常ではありません。

充電時は、WX04S本体が熱くなることがありますのでご注意ください。

WX04S本体について

WX04S本体で使用しているディスプレイは非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット（点）または常時点灯するドットが存在する場合があります。故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。本体を振り回したりそらしたりして、本体に無理な力が加わると破損やけがの原因となりますので取り扱いには十分ご注意ください。

強く押す、叩くなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。キズの発生や、破損の原因となることがあります。

ディスプレイを硬いものでこすったりして傷つけないようにご注意ください。

ポケットおよびバッグなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。また、金属などの硬い部材のストラップは、ディスプレイのキズの発生や破損の原因となることがありますのでご注意ください。

受話音声をお聞きになるときは、受話口が耳の中央部に当たるようにしてお使いください。受話口の穴が耳周囲にふさがれて音声が聞きづらくなる場合があります。

寒い屋外から急に暖かい室内に移動した場合や、湿度の高い場所で使用された場合、WX04S本体内部に水滴がつくことがあります（結露といいます）。このような条件下での使用は故障の原因となりますのでご注意ください。

エアコンの吹き出し口などの近くに置かないでください。急激な温度変化により結露すると、内部が腐食し故障の原因となります。

データを再生中に無理なキー操作を行うと、データが停止するなど通常と異なる動作をする場合があります。

電話帳やメモ帳などに登録した内容は、事故や故障・修理・その他取り扱いによって、変化・消失する場合があります。大切な内容は手帳などに控えておいてください。なお、事故や故障が原因で、電話帳やメモ帳などが変化・消失した場合の損害および損失利益につきましては、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

自動車内で使用した場合に、車載機器の影響によりノイズが入り、通常通話ができないことがありますのでご注意ください。

環境保護のため、不要になったWX04S本体は廃棄しないで、ワイモバイルショップまたはモバイルリサイクルネットワークマークのある販売店へお持ちください。

内蔵電池について

WX04S本体の内蔵電池の種類は次のとおりです。
・ 表示：Li-ion 00
・ 電池の種類：リチウムイオン電池

夏季、閉めきった車内に放置するなど極端な高温や低温環境では、内蔵電池の容量が低下し利用できる時間が短くなります。また、内蔵電池の寿命も短くなります。できるだけ常温でお使いください。

はじめてご使用になるときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。充電中、内蔵電池が温かくなることがありますが異常ではありません。

内蔵電池は消耗品です。使用できる時間が最初に比べて約半分程度になると交換時期です。なお、寿命は使用状態によって異なります。
また、内蔵電池はお客様自身では交換できません。内蔵電池の交換については、ワイモバイルショップなどで、本機をお預かりして有料にて承ります。お問い合わせ先または最寄のワイモバイルショップへご相談ください。

充電について

ご使用にならないときは、AC アダプタ（オプション品）の電源プラグをコンセントから外してください。

充電中に周囲の温度が高すぎたり低すぎたりすると、保護機能がはたらいて充電が停止し、フル充電できないことがあります。周囲の温度が5 ℃～35 ℃の場所にしばらく置くと、充電を再開します。

WX04S本体のMicro USB端子、ACアダプタ（オプション品）の充電端子はときどき乾いたきれいな綿棒で清掃してください。汚れていると接触不良の原因となります。

ワイモバイル指定のACアダプタ（オプション品）以外で充電しないでください。

空気抜き用の穴について

WX04S は防水仕様のため、WX04S 本体の密閉度が高くなっています。気圧変化（飛行機内）などが発生した場合、本体内部の気圧が高くなり本体が膨らむ可能性がありますので、空気抜き用の穴として機能しています。シール等で穴をふさがないようにしてください。
※この穴の内部には空気は通しますが、水は通さない特殊シートを貼り付けていますので、この穴から水が入ることはありません。

防水性能について

正しくご利用いただくために、「防水性能について」の内容をよくお読みになってからご利用ください。

この「防水性能について」に記載されている内容を守らずにご利用された場合、浸水・砂・異物混入の原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障などのおそれがあります。
※実際の利用にあたって、すべての状況で動作を保証するものではありません。お客様の不適切な利用による故障と認められた場合には、保証対象外となり有償修理となります。

本製品の防水性能でできること

WX04Sはリアカバーをしっかりと取り付けてある状態でIPX4[*1]相当の防水性能を有しています。

[*1] IPX4とは、JIS指定のノズルを用い、約30-50cmの距離から約10ℓ/分の水を5分以上注水する条件であらゆる方向からの水の噴流によっても、電話機としての性能を保つことを意味します。

- 弱い雨の中で傘をささずに通話ができます。（1時間の雨量が3mm未満程度）
- キッチンなど水を使う場所で利用できます。
- 手を洗った後に濡れた手で持って通話ができます。

ご利用にあたって

実際のご使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合は、保証の対象外となります。

重要事項について

- WX04S本体は、水中ではご利用になれません。（水の中には入れないでください）
- WX04S本体を洗わないでください。
- リアカバーをしっかりと取り付けた状態でご利用ください。
- WX04S本体が濡れている状態では絶対に充電しないでください。
  濡れた場合は、「水に濡れたときは（P.20）」をお読みになり、水分を取り除いてからご利用ください。
- WX04S 本体は、防塵仕様ではありません。砂浜などに直接置かないでください。
  受話口や送話口、スピーカーへ砂やゴミなどが入り、通話不良となったり、本体に混入した場合には、発熱や故障の原因となります。

注意事項について

- コンロの近くや、冷蔵庫の中など、極端に高温や低温になる場所に置かないでください。
- 石けん、洗剤、ジュースなど、真水や水道水（5℃～35℃）以外のものをかけないでください。
- 耐水圧設計ではないので、シャワーなどの高い水圧が直接かかるようなご利用はしないでください。
- 浴室や、シャワールーム等に持ち込まないでください。
- 耐熱設計ではありません。熱湯に浸けたり、サウナで利用したり、温風を当てたりしないでください。
- 濡れたまま放置しないでください。
  濡れた場合は、「水に濡れたときは（P.20）」をお読みになり、水分を取り除いてからご利用ください。
- 結露防止のため、寒い場所から暖かい場所へ移動するときはWX04S本体が常温になってから持ち込んでください。
- 防湿仕様ではありません。湿度の高い場所には持ち込まないでください。
- 落下させたり衝撃を与えないでください。傷や変形などにより防水性能の劣化を招くことがあります。

・送話口、受話口、などに水滴を残さないでください。通話不良となる恐れがあります。
・送話口、受話口、空気抜き用の穴、リセットボタン、Micro USB端子部などをとがったものでつつかないでください。
・付属品、オプション品は防水性能を有しておりません。

水に濡れたときは

水に濡れた場合は、下記の手順でWX04S本体の水分を取り除いてください。

1. WX04S本体の全面を繊維くずの出ない、乾いたきれいな布などでよく拭き取ってください。
   また、本体とリアカバーの間に水が浸入すると抜けずに残ってしまうことがあるので、リアカバーを外し、リアカバーの内側と本体裏側（リセットボタン、空気抜き用の穴など）もよく拭き取ってください。
2. 送話口、受話口、ボタン、Micro USB 端子にたまった水を抜くため、本体をしっかりもって振ります。
3. 送話口、受話口、ボタン、Micro USB 端子から出た水分を十分に拭き取ります。

※水抜きしても、水分が残っている場合があります。服やかばんの中などを濡らすおそれがありますのでご注意ください。

充電の時は

オプション品は防水性能を有しておりません。充電時、および充電後には次の点をご確認ください。

・WX04S本体が濡れている状態では絶対に充電しないでください。よく乾いたことを確認してください。
  水分が付着したままで充電を行った場合、故障・発熱などの恐れがあります。
  濡れた場合は、「水に濡れたときは（P.20）」をお読みになり、水分を取り除いてからご利用ください。
・濡れた手でACアダプタ、Micro USB ケーブル（オプション品）に触れないでください。感電の原因となります。
・AC アダプタ、Micro USB ケーブル（オプション品）は、水のかからない状態で利用してください。
  浴室、シャワールーム、キッチン、洗面所などの水まわりでは利用しないでください。火災や感電の原因となります。

快適にお使いいただくために

ゴムパッキンは防水性能を維持するためWX04S本体内部にて使用されている重要な部品です。以下のことにご注意ください。

・真水、水道水以外のものが付着すると、防水性能が維持できなくなる場合があります。
・防水性能を維持するため、異常の有無に関わらず2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換はWX04S本体をお預かりして有料にて承ります。
  最寄のワイモバイルショップへご相談ください。

本書の読み方

操作方法について詳しくは、「機能の呼び出しかた（P.31）」をご覧になり本書をお読みください。

また、本書をご覧になるうえでの注意点や補足事項、ヒントは次の表示方法で説明しています。

■注 意■
注意事項が記載されています。

補 足
●補足事項が記載されています。

ヒント
■利用上のヒントが記載されています。

本書をお読みになる場合の留意点
本書は、お買い上げ時の設定をもとに説明しています。お買い上げ後の設定変更によって動作が異なる場合がございます。

誤った操作方法や機能に制限のある場合などは、待受け画面にメッセージが表示されます。メッセージの内容をご確認のうえ、操作を行ってください。

本書で掲載している画面はイメージです。実際の画面とは異なる場合がございます。

無断転載を禁じます。
本書の内容は、断りなく変更することがあります。
本書および本書に記載された製品の使用によって発生した損害およびその回復に要する費用に対し、弊社は一切の責任を負いません。
本製品が不要になったときはモバイルリサイクルネットワークのマークのある販売店へお持ち込ください。
やむを得ず廃棄する場合には地方自治体の条例に従ってください。

SII はセイコーインスツル株式会社の登録商標です。
その他、記載されている会社名、システム名、製品名などは、各社の商標または登録商標です。

・ 本製品には、株式会社リムコーポレーションのフォントを使用しています。
・ 日本語変換は、オムロンソフトウェア(株)の Advanced Wnn を使用しています。
Advanced Wnn (c) OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2002-2007 All Rights Reserved.